



温室効果ガス排出量削減！ メンテナンスニュース 第120号

社内学習資料

2023年5月発行

私たちは緊急出動ゼロを目指しています！

事業方針：丁寧な・熱心な作業も技術の一つです！

私たちは環境に優しい、持続可能なメンテナンスを実践しています！ ディスポージャーによる生ゴミ排水処理は日本版システムです！

・1927年、ディスポージャーは米国で発明されました。生ゴミはキッチン排水口に取付のディスポージャーで細かく粉碎し、下水道に放流します。快適・清潔なキッチンの革命です。

・1960年代日本では国産メーカーが相次いで誕生、また米国製品の輸入ディスポージャーの販売が活発となりました。結果、ディスポージャーの単体設置が進み下水道に大きな負荷を与え、自治体はディスポージャー単体設置の自粛・禁止に踏み切りました。

・建設省は1994年～1996年にかけて「つくば第5研究所」でディスポージャー排水処理システムの開発に取り組みました。

・1998年、国内でディスポージャー排水処理システムの第一号が認可、ディスポージャー付マンションの誕生・普及となりました。

・当該システムは、キッチンで細かく粉碎の生ゴミを、地下に設置の排水処理槽で、綺麗な水に変えて下水道に放流する日本版の仕組みです。

・100戸のマンションは、570本の杉のCo2削減能力に匹敵する、環境に優しい森をもっています。住居1戸のCo2削減量は1年間で概ね80kgです。



建設省、つくば第5研究所での実証テスト



都市基盤整備公団宿舎でフィールドテスト

建設省は3年を掛けて副産物生成抑制PJに取り組みました。

当初開発のメンバーでプロジェクトは土壇場まで追込まれましたが、Pa社Ct社の共同開発機を「つくば」に持ち込み、PJは成果を得ることができました。

1997年建設省は「つくば」成果を踏まえ、高島平でマンションにdspと処理槽を設置したフィールドテストを実施致しました。

テストは想定以上の成果で、早期の許認可に繋がりました。

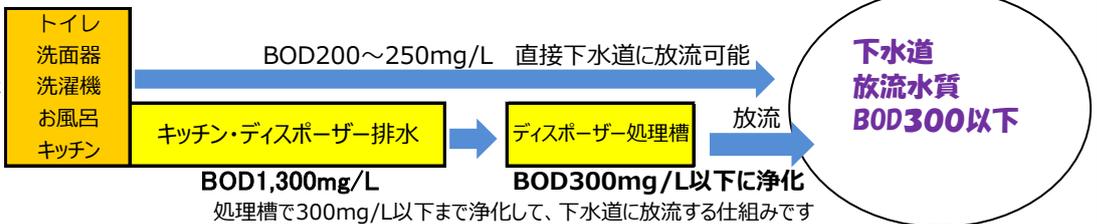
- ※ ディスポージャー排水処理システム適合評価書は、メンテナンスを設置条件としています。メンテナンス無くしてシステムは機能致しません。
- ※ 私たちは、環境に優しい当該システムのメンテナンス防人です。先進のメンテナンス技術で委託のシステムを支えています。

・現在は、全国で6,000棟のマンション、80万戸に設置が拡大し「温室効果ガス排出削減」に貢献しています。

ディスポージャーで粉碎の生ゴミは、処理槽で下水道放流基準値以下に浄化、下水道に放流されます。よって、キッチンやゴミ庫から、生ゴミも臭気も消えます。ディスポージャーが普及拡大すれば、自治体の週2回のゴミ収集から生ゴミは消え、夏場の強烈な悪臭から解放されます！



家庭の排水は



下水道
放流水質
BOD300以下

水物語 No110

東京では、たくさんの野鳥に出会えます！



東京都の都鳥はユリカモメですが、カモメ以外にもたくさんの野鳥を見ることができます。ムクドリ、ヒヨドリ、ツグミ、モズ、メジロ、タジキ、カワセミ・・・。東京に住んで十数年になりますが、最初はたくさんの人波と高層ビル群で、自然と緑の少ないイメージでしたが、さにあらずや緑が多くて、そこにはたくさんの野鳥が羽を休めています。

散歩道の街路樹で公園で、少し歩くだけでいろんな鳥に出会えます。木々に花が咲き、新緑の季節には鳥たちのさえずりが聞こえてきます。「じじじ」という鳴き声、「ツピーツピー」のさえずり声で、シジュウカラが近くにいることがわかります。シジュウカラは黒と白のオシャレな柄を身にまとっていますが、その背中ではメジロに似た抹茶色で素敵です。心地よい季節、散歩しながら野鳥の観察で気分転換を図っています。

特許 油脂ゼロポンプ槽推進中！

特許 dsp・ハイブリッドシステム推進中！ 株式会社クリーンテックサービス東京